

# 2012年3月期 第2四半期決算 説明会資料

2011年11月7日  
株式会社ビーマップ  
代表取締役社長 浅賀英雄



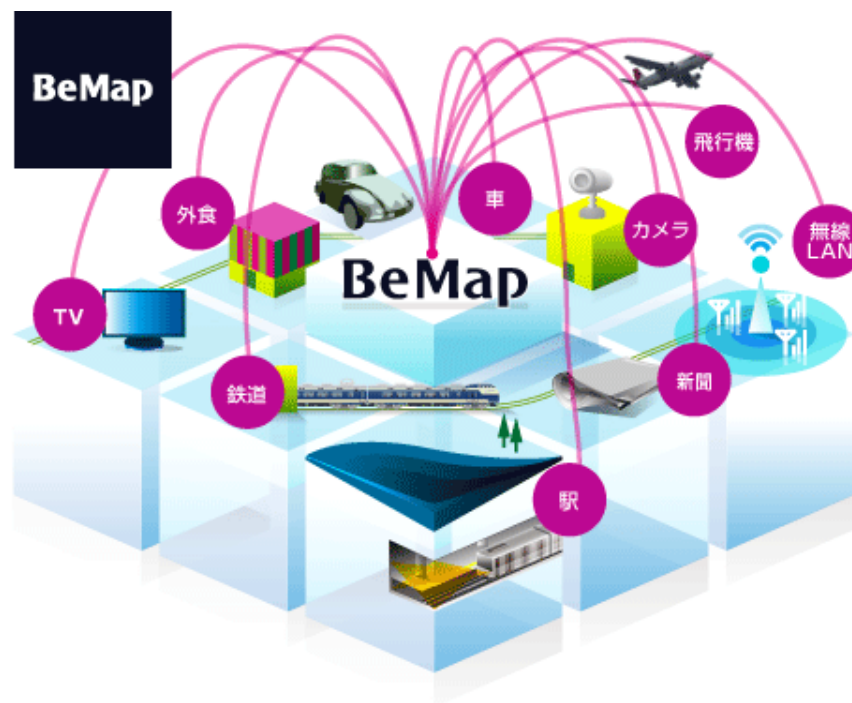
## ビーマップの事業ドメインは

多種多様なモバイル端末へのコンテンツサプライを可能にする  
ソフトとサービスの提供

*Best Mobile Application Producer*



## ～社会インフラ間クロスメディアのハブとなる～



ビーマップは引き続き、社会的なインフラ企業の基幹サービスへの  
企画・受託・運営により安定的な事業成長を目指します。  
また、事業を通して社会の発展に貢献していきます。

■ 会社名 株式会社ビーマップ

■ 所在地

〒112-0001

東京都文京区白山5-1-3

■ 創立 1998年9月4日

■ 資本金 1,853百万円

■ 役員 8 名

■ 従業員 53 名

※2011年9月30日現在

■ 主な取引先

ジェイアール東日本企画、NTTグループ各社（NTTドコモ、NTTBP他）、ソフトバンクモバイル、KDDI研究所、読売新聞東京本社、マイクロソフト 他

■ 役員

代表取締役社長 浅賀 英雄

取締役会長 杉野 文則

取締役(非) 柴本 猛

取締役(非) 棗田 眞次郎

取締役(非) 松尾 益次郎

常勤監査役 籠浦 光

監査役(非) 平野 彰

監査役(非) 小林 義典

# 2012年3月期 第2四半期の決算概要



## 1) 連結

(単位:百万円)

	2012.3中間期	2011.3中間期	増減	前期比
売上高	340	331	+9	+2.8%
営業利益	▲78	▲52	▲26	—
経常利益	▲84	▲82	▲2	—
純利益	▲85	▲83	▲2	—

## 2) 個別

(単位:百万円)

	2012.3中間期	2011.3中間期	増減	前期比
売上高	340	331	+9	+2.8%
営業利益	▲78	▲56	▲22	—
経常利益	▲77	▲54	▲23	—
純利益	▲78	▲81	+3	—

## <連結>

- ・売上高： ナビゲーション事業の一部（道路ナビ関連）とクロスメディア事業の一部（TVメタデータ関連）での計画未達が影響し、当初計画370百万円に対し、340百万円に留まった。
- ・営業利益： 売上減に伴い売上総利益が予定を下回り、また、製造稼働率も予定より下回ったため販管費に計上される労務費が増大し、結果として、当初計画▲70百万円に対し、実績▲78百万円となった。
- ・経常利益、純利益： 持分法投資損失7百万円を計上したことにより、経常損失84百万円、四半期純損失85百万円となった。

## <継続企業の前提>

継続的な営業損失、営業C/Fのマイナスを計上したことにより、継続企業の前提に関する注記を記載した。黒字回復により解消させる見込み。

## 1) 新規事業(古地図復元サービス)の開始

5月のiPhone版の提供開始に引き続き、iPad版、Androidタブレット版に提供範囲を拡大。今期中に有料化し、ASP展開と合わせて、収益の確保を図る予定。

## 2) 無線LAN事業をめぐる環境の激変

スマートフォンの普及に伴うトラフィック対策として、通信事業者による無線LANインフラへの投資と、サービス企画・構築が活発化。

約10年間、無線LANに関わってきた当社にとって、過去最大のチャンスが到来。

## 3) 事業計画の見直しを実施

無線LANの他事業との連携も含め、体制シフトの必要が生じたため、全体の計画数値は変更しないが、人材面を中心に経営資源の集中投資を実施中。これに伴い、法人ナビ案件やその他提案活動の一時中断など取捨選択を実施中。

## 4) スマートフォン向けプッシュ配信ソリューション「スマートプッシュ」の展開

無線LANの位置情報を活用した配信システム「スマートプッシュ」を開発。

下期にかけて、案件の具体化を予定。

その他、無線LANを活用したマーケティングサービスの企画・開発に取り組み中。



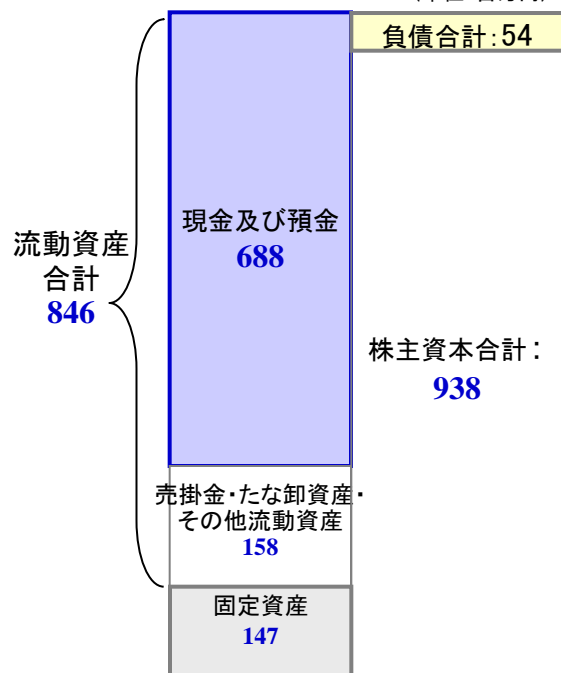
## 総資産/純資産の変化の要因

- ・現預金は、純損失計上などにより、58百万円の減少。
- ・総資産を前年度中間期と比較すると、136百万円の減少。

### 2010.9中間期(連結)

資産合計/負債純資産合計: **993**

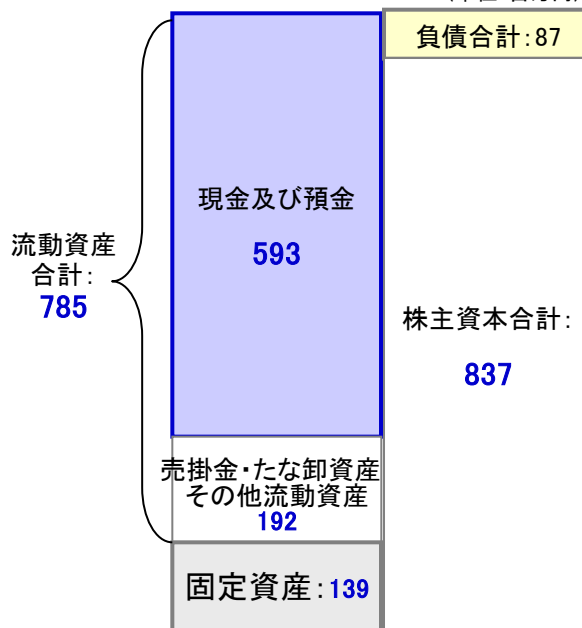
(単位:百万円)



### 2011.3期(連結)

資産合計/負債純資産合計: **925**

(単位:百万円)

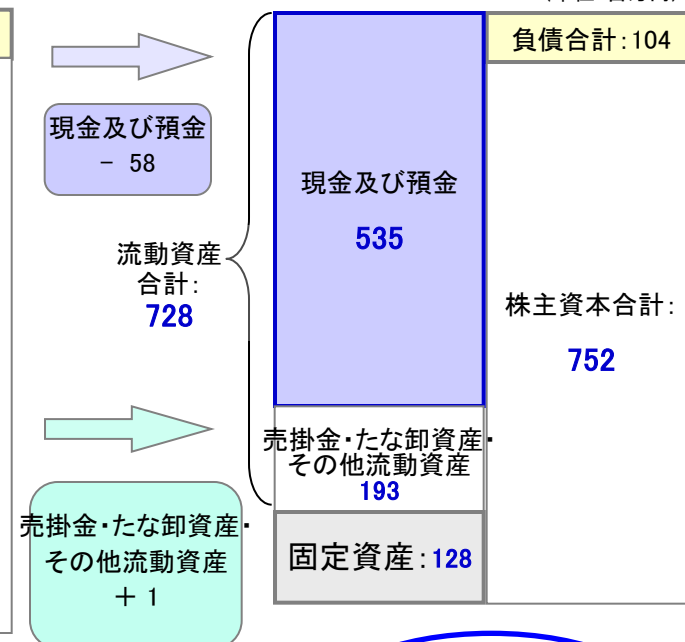


自己資本比率  
**90.5%**

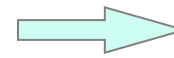
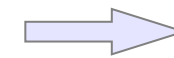
### 2011.9中間期(連結)

資産合計/負債純資産合計: **857**

(単位:百万円)



自己資本比率  
**87.7%**



現金及び預金  
- 58

売掛金・たな卸資産・  
その他流動資産  
+ 1

- 1) セグメント別業績一覧
- 2) モバイル事業分野
- 3) クロスメディア事業分野
- 4) モニタリング事業分野
- 5) 重点事業の紹介
- 6) 2012年3月期に向けた課題と対策

# 1) セグメント別業績一覧

(単位: 百万円)

	ナビゲーション 事業	クロスメディア 事業	モニタリング 事業	その他事業	調整額	合計
売上 高	112 (前年同期: 167)	131 (前年同期: 84)	97 (前年同期: 79)	— (前年同期: -)	—	340 (前年同期: 331)
営業 利益 又は 損失 (▲)	▲0 (前年同期: +20)	▲20 (前年同期: ▲11)	+2 (前年同期: ▲0)	— (前年同期: -)	▲59 (前年同期: ▲61)	▲78 (前年同期: ▲52)

<全体>売上高112百万円(前年比34%減)・営業利益▲0百万円(前年+20百万円)

- ①交通関連事業は安定した実績を確保。今後の課題は、無線LANインフラに関わる案件の掘り起こしなどによるビジネスチャンスの拡大。
- ②道路関連事業は、今期より古地図復元サービス「今昔散歩」を開始。法人ナビ、びあはーるについては継続案件の受注に留まる。

サービス	内容	活動
<b>鉄道ナビ関連事業</b> 「えきねっと/ JRトラベルナビゲータ」	株式会社ジェイアール東日本企画 向け時刻・乗り換え案内システム等 の提供	<ul style="list-style-type: none"> <li>■携帯電話向けサービス、インターネット予約サイトの開発と、継続的な運営・機能向上。</li> <li>■(株)JR東日本様を通して、JR東日本グループ各社に対して安定したサービスをご提供。</li> </ul>
<b>位置情報・道路ナビ                      関連事業</b> 「びあはーる」 「今昔散歩」	位置情報モバイルサービス ナビゲーションシステム企画・提供	<ul style="list-style-type: none"> <li>■びあはーるについては、前期からの継続案件の受注にとどまる。</li> <li>■法人ナビについても同様。</li> <li>■江戸・明治時代の古地図を現代地図と重ね合わせ、歴史の変遷を楽しむサービスを新たに開始。</li> </ul>

＜全体＞売上高131百万円(前年比55%増)・営業利益▲20百万円(前年▲11百万円)

- ①スマートフォン版「Yahoo!テレビ.Gガイド」へのメタデータ提供を開始するなど、サービス拡大に努める。ただし、期首の意欲的な事業計画には届かず、業績の下振れ要因となる。
- ②無線LAN関連事業において、受注環境が好転し、売上高増。ただし、事業拡大に伴う初期費用増加のため、利益率低下。

サービス	内容	活動
メタデータ事業	TV放送内容をテキスト化するサービス	<ul style="list-style-type: none"> <li>■TV局、広告代理店、シンクタンク、通販サイトなど、様々な事業会社へ提供</li> <li>■ハードメーカー、通信事業者へASP事業</li> </ul>
無線LAN関連事業	無線LANに関するアプリケーションの企画・開発	<ul style="list-style-type: none"> <li>■エヌ・ティ・ティ・ブロードバンドプラットフォーム(株)との協力体制のもと、つくばエクスプレスを始め多くの無線LANスポット提供会社への事業展開</li> <li>■スマートフォンの急増によるトラフィック対応のため、通信事業者による無線LANネットワークの構築が急増し、管理系システム、アプリケーションなどの当社への引き合いが急増。</li> </ul>

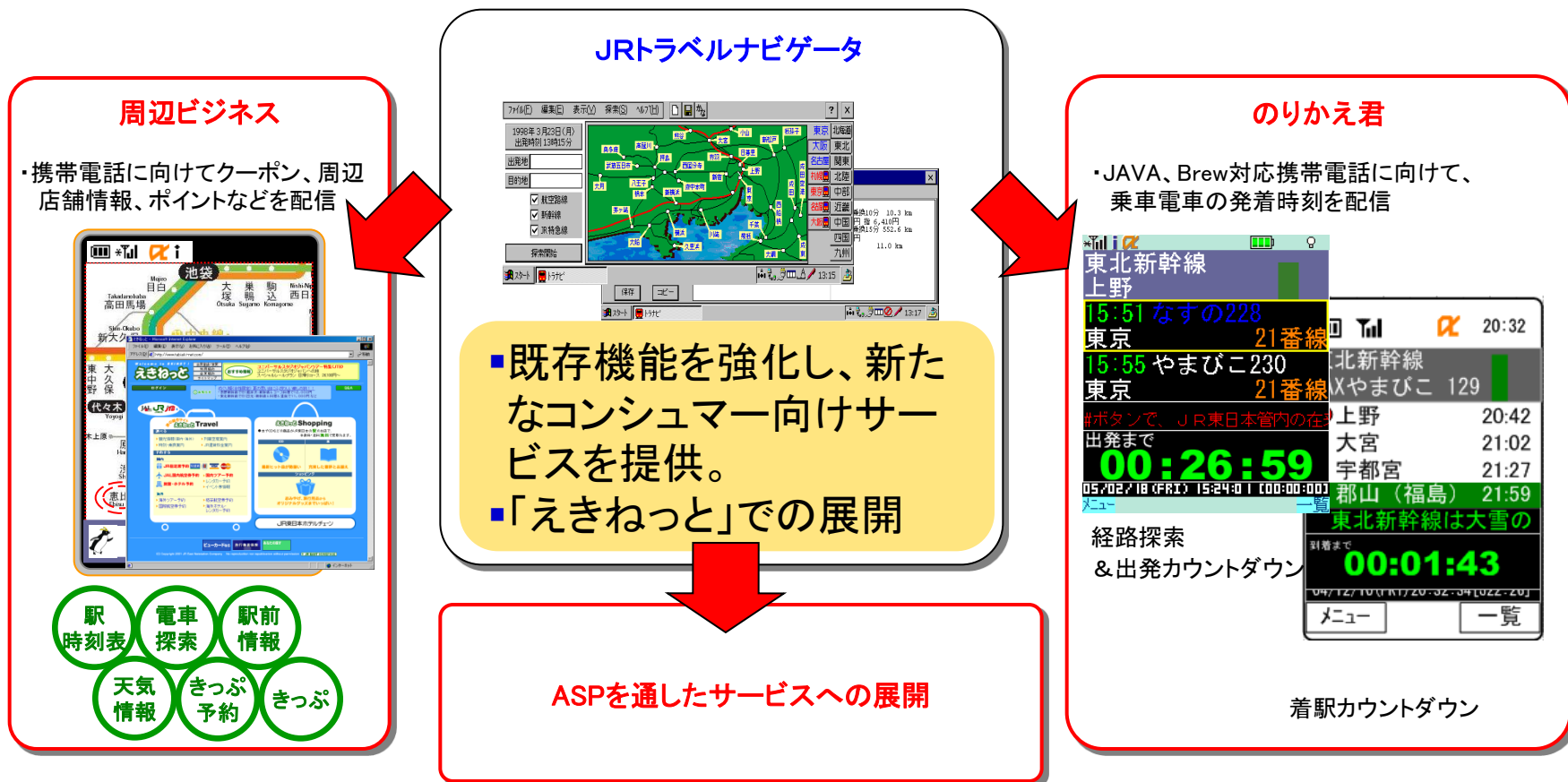
<全体>売上高97百万円(前年比22%増)・営業利益2百万円(前年▲0百万円)

- ①モニタリング倶楽部は、飲食店向けを中心に堅調に推移。下期はASPの販売拡大に取り組む。

サービス	内容	活動
遠隔監視事業 「モニタリング倶楽部」	インターネットを使った画像閲覧サービス	■ 外食産業や駐車場などASP機能の追加により、営業活動を強化

## JRトラベルナビゲータ

JR東日本グループより経路探索ソフトトラベルナビゲータのソフトウェア開発・運用保守を受注。携帯電話向けサービス、インターネット予約サイトの構築。



## 道路ナビ関連サービス

ナビゲーションシステムをPNDメーカー(HP、MiTac、YUPITERU)にOEM、法人企業にライセンス提供  
デンソー・長瀬産業・JTB・LRホールディングと共に自動車旅行支援サイト「びあはーる」を運営。

### 位置情報関連



法人向けOEM、  
ライセンスビジネス

携帯端末・PNDなどのメーカー向けに  
ライセンス提供

### ドライブポータル「びあはーる」

(<http://www.viajar.jp/>)



サイト運営型  
ビジネス

パートナーである  
デンソーコミュニケーションズでの展開



## 復元古地図・歴史コンテンツASPサービス

「今昔散歩」は主に東京を中心とした江戸時代や明治時代の地図を現代の地図と重ね合わせて見る事ができるAPPです。iPhoneアプリとして、無料ダウンロード9位の実績をあげました。

### iPhone向けアプリケーション



現代



江戸



江戸 部分拡大

### ASPサービス

不動産等での活用

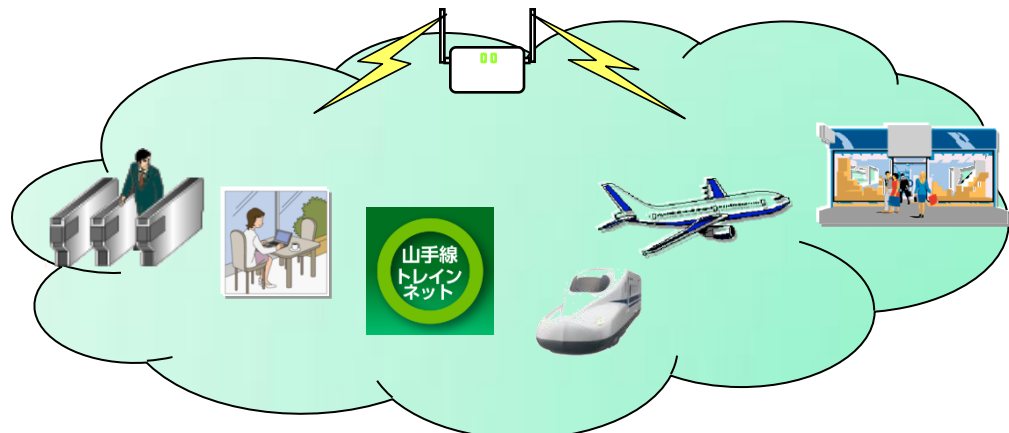


観光等への活用



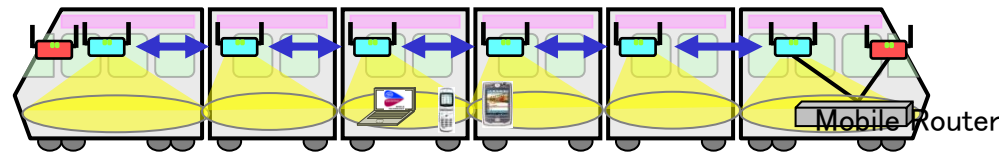
## —無線コンテンツ配信事業①—

- 人口集中地域における通勤・通学手段としての鉄道会社、コンビニ・レストラン等を通してコンテンツ等の配信を行う。NTTグループ、JR東日本グループを通しての事業。

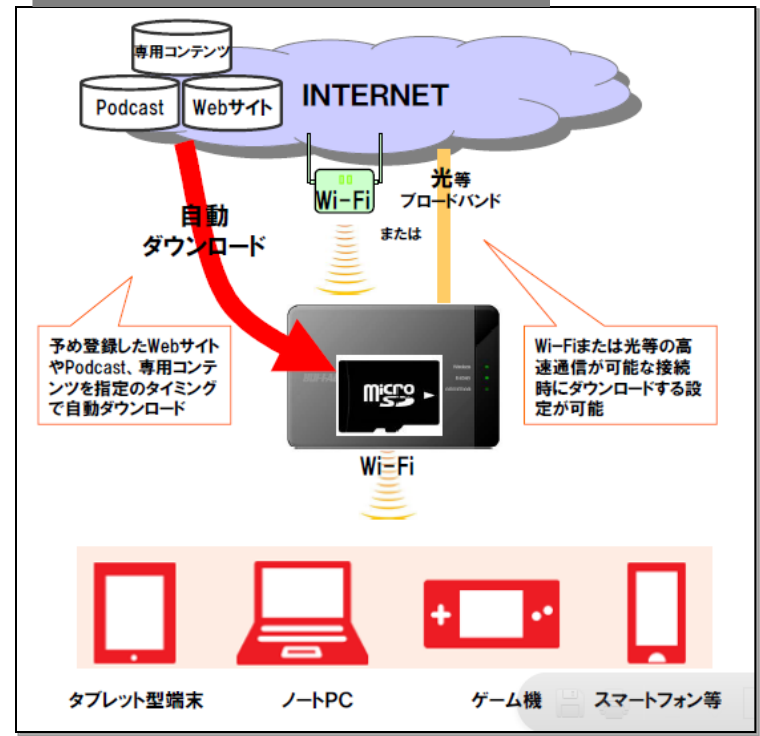


※無線スポットは駅周辺から航空機・列車内・コンビニ・外食

つくばエクスプレス、東海道新幹線N700系、山手線(実験)では列車内でも協力。



### 動画配信(日テレニュース他)



# 無線LANコンテンツ配信事業②

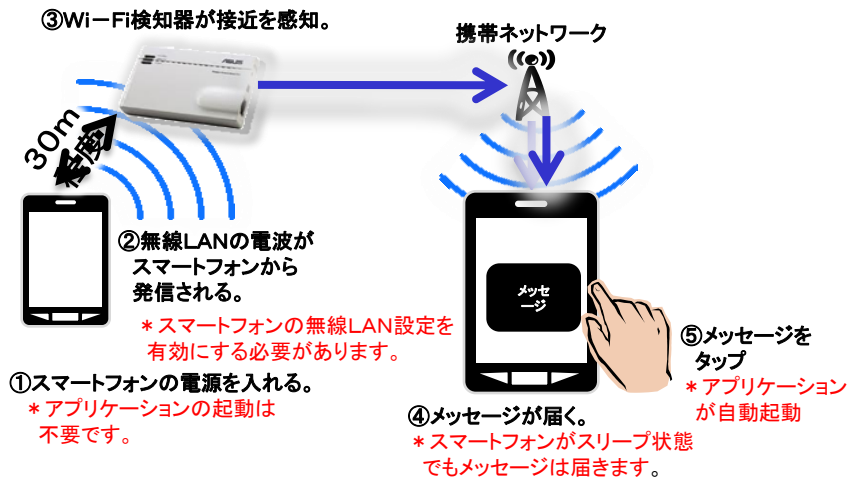
## 任天堂DS向け配信システム



汎用性の高いコンテンツの拡充に加え、人気のTV番組やフリーペーパー、クイズなど、ホームでの待ち時間に簡単にチェックいただけるコンテンツや、列車内での移動時間にお楽しみいただけるコンテンツを新たに拡充します

## スマートプッシュ

無線LANを活用したPush型コンテンツ配信システム



## コンテンツ例



## 各種スタンプラリー



## TVメタデータ

- テレビ番組の放送内容をデータベース化 ⇒ テレビ情報検索サービス「MetaTV」

テレビから発信される膨大な情報を即座に検索できる、世界で唯一のサービスを提供



局名	放送日時	番組名	ヘッドライン	時間	再生
TBS	2006/11/08 18:00	イブニング・ファイブ	安倍首相・党首討論	00:02:44	再生
<small>安倍首相が、自民党・中川政調会長らの格別有識論発言を容認する考えを示した。民主党・小沢一郎代表、安倍首相の国会発言。民主党・高木義明副委員長の会見。 タイムコード:18:08:23-18:11:07</small>					
NHK	2006/11/08 19:17	ニュース7	安倍首相・党首討論		
<small>安倍首相が、自民党・中川政調会長らの格別有識論発言を容認する考えを示した。安倍首相、民主党・小沢代表の国会発言。 タイムコード:19:17:40-19:19:54</small>					
TBS	2006/11/08 17:40	イブニング・ファイブ	自民党・小泉純一郎前首相・日本夢づくり連場で演説	00:06:42	再生
<small>民主党10国生議員の研修会「日本夢づくり連場」で講演を行った。「使い捨ては当たり前、それが嫌なら国会議員にならないほうが良い。向上心を持ってがんばっていただきたい」と機を飛ばした。自民党・杉村太朗議員、自民党・井脇ノブ子議員、自民党・広津素子議員、自民党・片山虎之助参院幹事長、参事朝元首相、安倍首相、自民党・小野次郎議員、前衆議院議員・城内英氏、自民党・中川秀道幹事長のコメント。 タイムコード:17:40:40-17:47:22</small>					

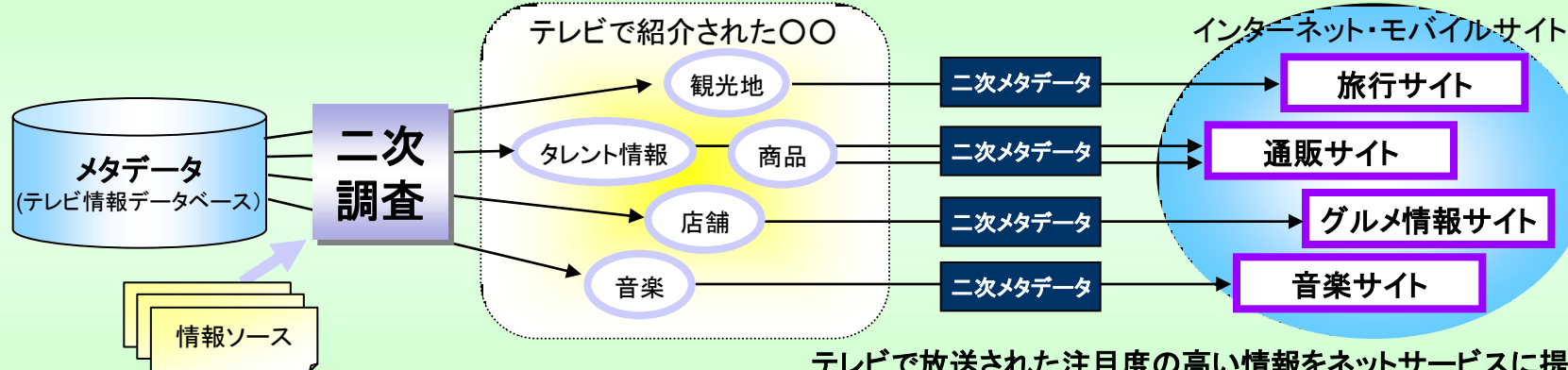
シーン再生



さらに、検索結果から、企業内の録画サーバに録画した映像の見たいシーンを即座に再生

- テレビの情報を再編集し提供 ⇒ ネットとテレビの融合を加速させる「二次メタデータ」

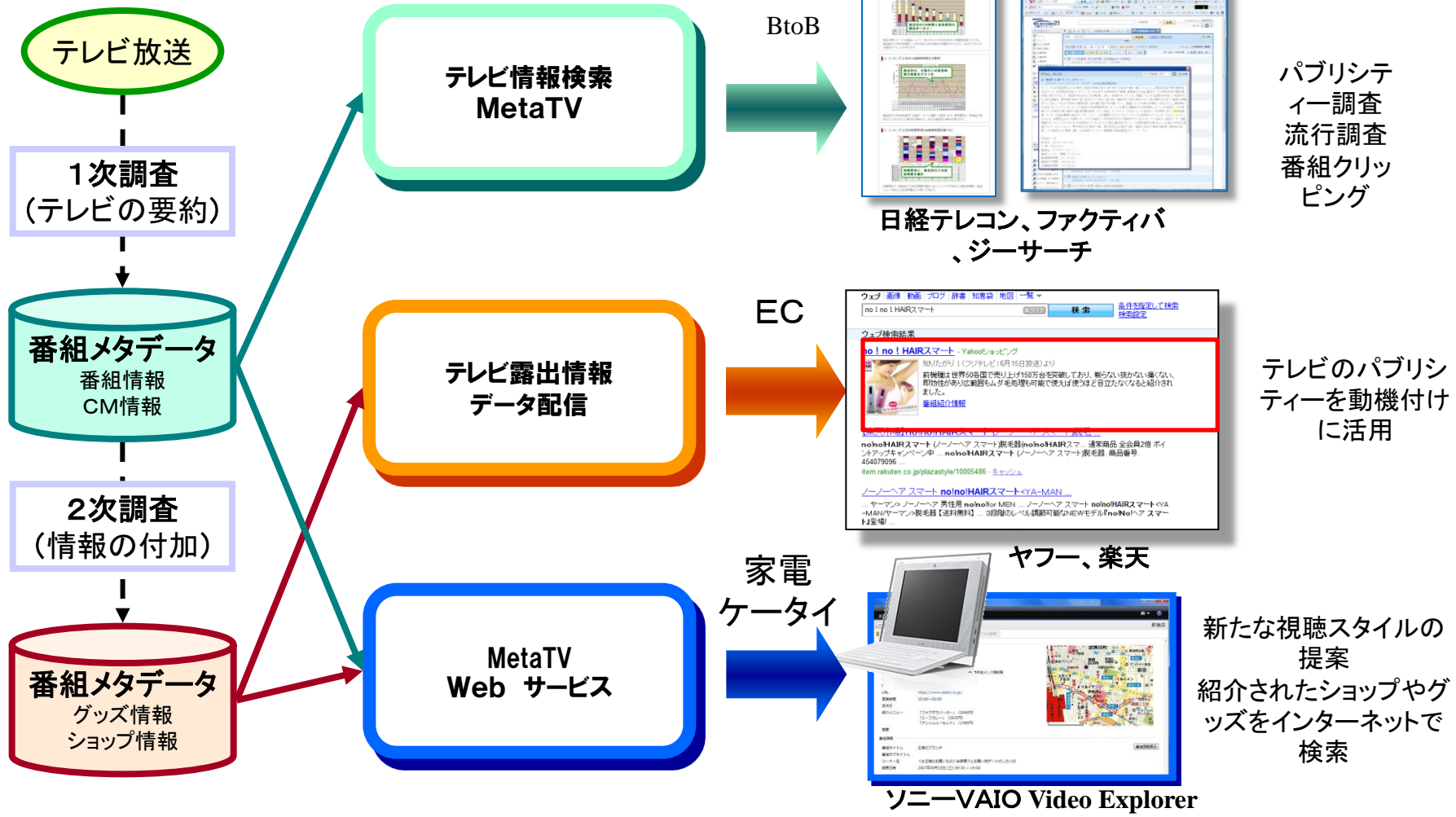
テレビの情報を様々な角度から再編集



テレビで放送された注目度の高い情報をネットサービスに提供

※テレビ局、大手企業、広告代理店、ECサイト、PCメーカーへ提供。

# 提供するTVメタデータサービス 例



## モニタリング倶楽部

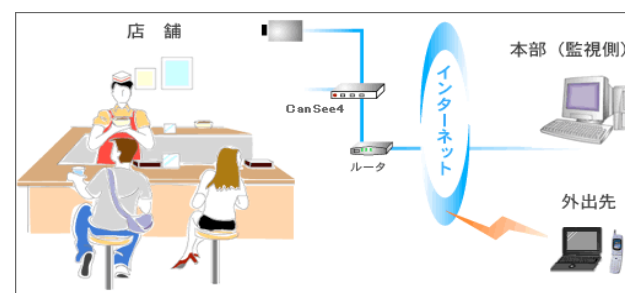
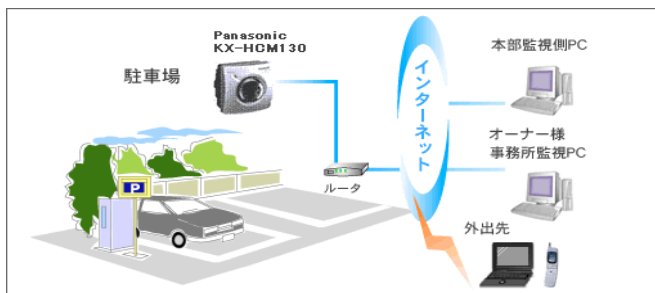
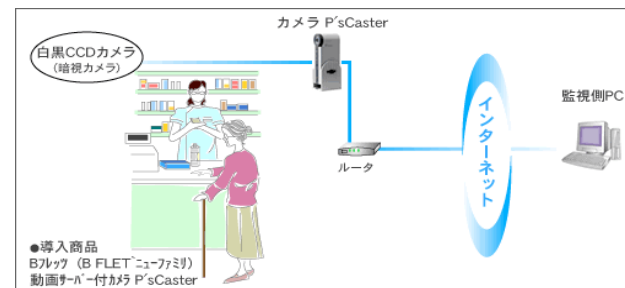
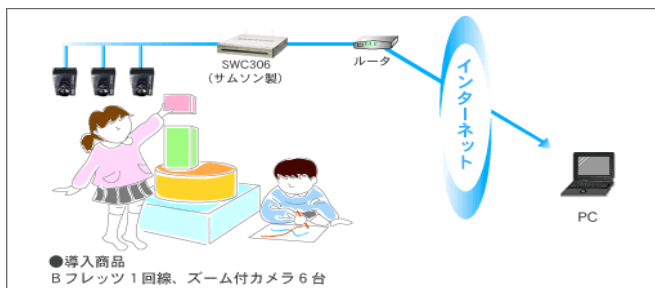
### 遠隔監視ASPサービス

インターネット／ウェブカメラを活用し遠隔地を監視するシステムを提供。

大手飲食店グループ等へ導入。

販売は直販に加え、販売提携先のNTT東日本の法人営業部がフレッツ光とセットで販売。

### 動画配信システムイメージ図



## 6) 経営レベルの課題と対策

課題		対応状況
1	<p>全社的収益管理</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・提案営業力の強化</li> <li>・事業・プロジェクトの個別収益性管理</li> <li>・費用管理の徹底・間接コストの抑制</li> </ul>	<p>昨年来実施している営業体制の強化についてはひと段落したものの、無線LANの事業強化に伴い、人材面を中心とする経営資源の集中に取り組んでいる。個別原価管理、工数管理の徹底により、低収益プロジェクトは大幅に削減された。無線LANの大型案件を抱えており、引き続き、品質管理と原価管理の徹底に取り組む。</p>
2	<p>既存取引先との関係強化、および提供サービスの多様化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・顧客ニーズの深耕による持続的な取引</li> <li>・多様なサービスの横展開、別業種の顧客候補への横展開</li> </ul>	<p>各事業分野の主要顧客との関係強化は継続的に取り組んでいる。モニタリング事業については、既存の飲食店を基盤としつつ、ASPの販売強化に取り組んでいる。</p> <p>今期以降、通信事業者等との関係強化により、無線LAN関連の急成長が見込まれている。</p>
3	<p>製品・技術革新への対応</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・技術革新によるプラットフォームの変更・リニューアル</li> <li>・競合他社に対する比較優位性、ポジショニング</li> <li>・知的財産の管理</li> </ul>	<p>モバイル業界全体において、スマートフォン対応へのシフトを求められており、当社は、無線LANインフラに関わる事業分野に取り組んできたことが、通信事業者から評価されており、今後の成長の鍵と理解している。今期以降、無線LANへの事業シフトを進め、当社の先行者優位の立場を生かしつつ、場合によっては知的財産の権利化なども進めていく。</p>
4	<p>優秀な人材の継続的な確保・育成</p>	<p>人員計画を定め、それに基づいた採用・育成を実施。</p> <p>急遽、無線LAN関係の体制強化が必要となり整備中。</p>
5	<p>事業継続計画(BCP)の策定・社内共有、災害時の対応準備</p>	<p>東日本大震災、節電対応を踏まえた取り組みを立案し、導入しつつある。現時点での新たな課題としては、タイ洪水によるモニタリング事業の部品調達の遅延対策。</p>

# 2012年3月期 業績予想





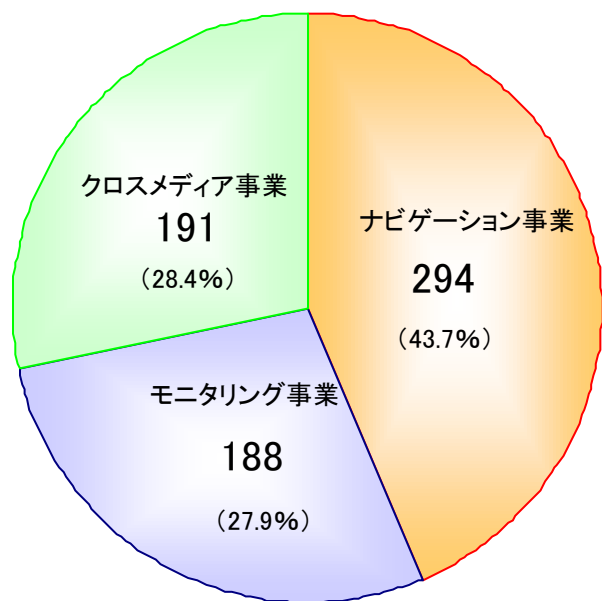
- ・売上高: 無線LANを中心に受注環境が活発であり、現時点で9億円弱まで積み上げている。
- ・営業利益/経常利益/純利益  
: 徹底した費用管理により、予定売上での収支均衡以上を大命題とする。

## 連結

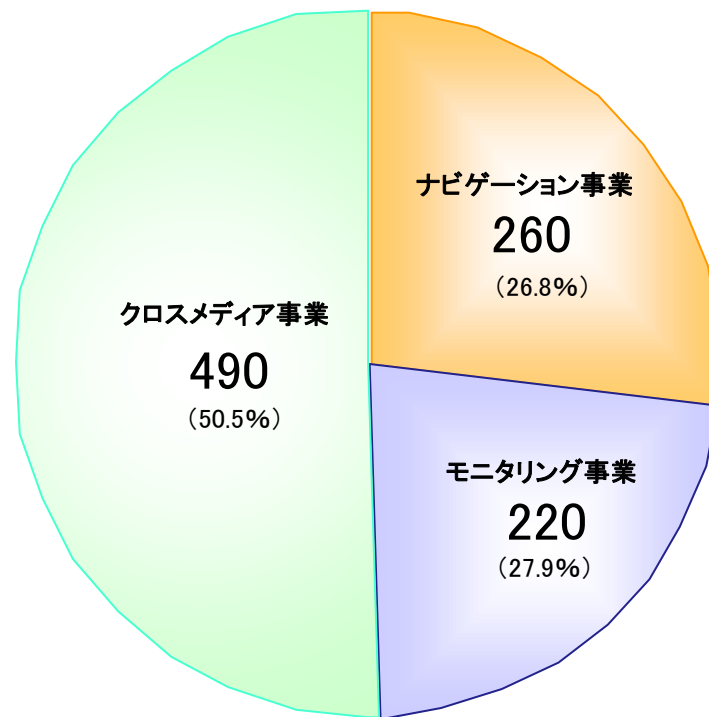
単位: 百万円

	2012年3月期予想	2011年3月期実績	増減	前期比
売上高	970	675	295	43.7%
営業利益	0	▲158	+158	—
経常利益	0	▲179	+179	—
純利益	0	▲184	+184	—

2011年3月期  
売上合計675百万円



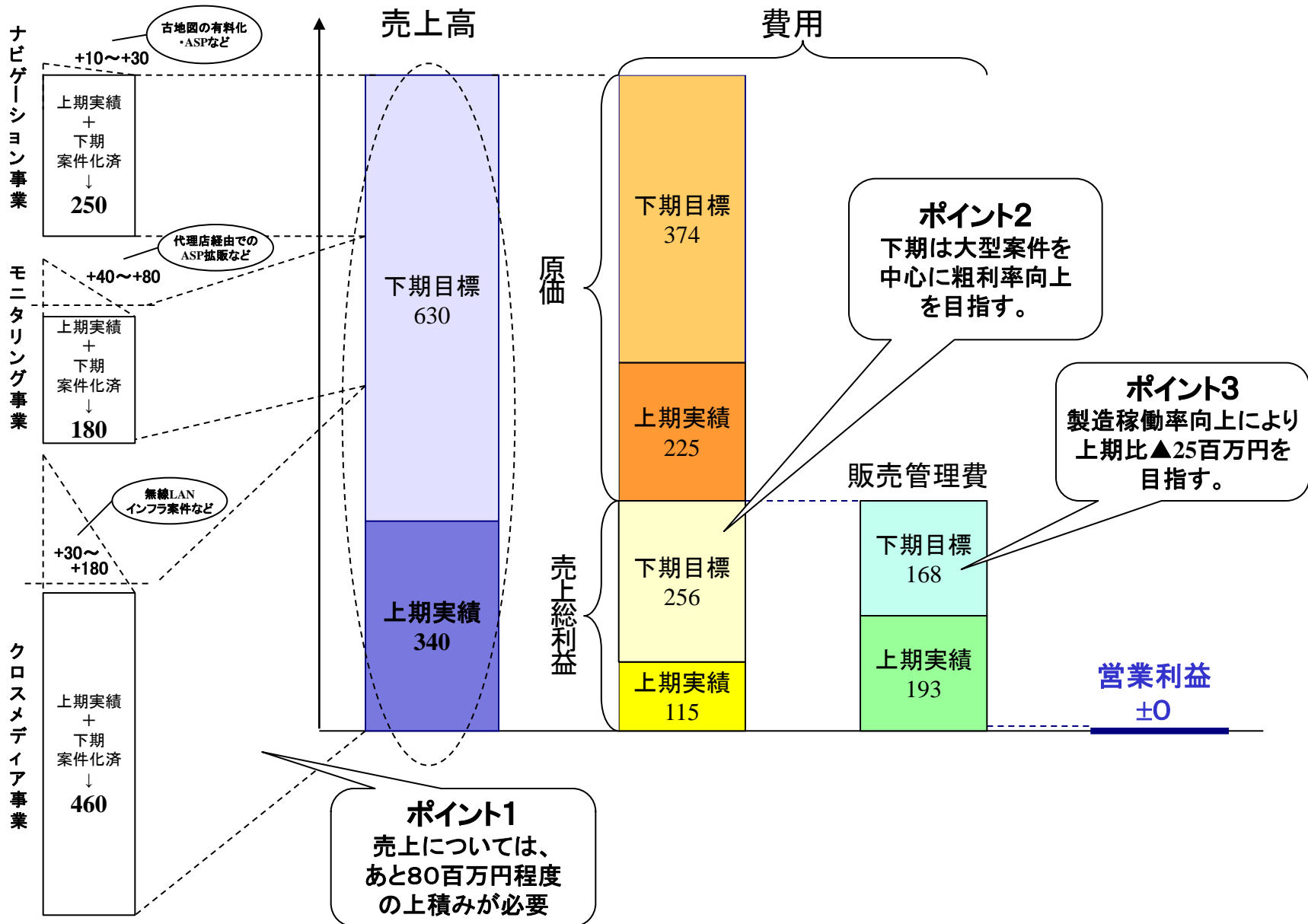
2012年3月期(見込)  
売上合計970百万円



対比

単位:百万円  
(カッコ内:構成比率)

# 2012年3月期の目標値と達成のポイント



# 中期3カ年の経営目標



## 連結

(単位:百万円)

	2012年3月期 予想	2013年3月期 目標	2014年3月期 目標
売上高	970	1040	1200
営業利益	0	40	90
経常利益	0	40	90
純利益	0	40	90

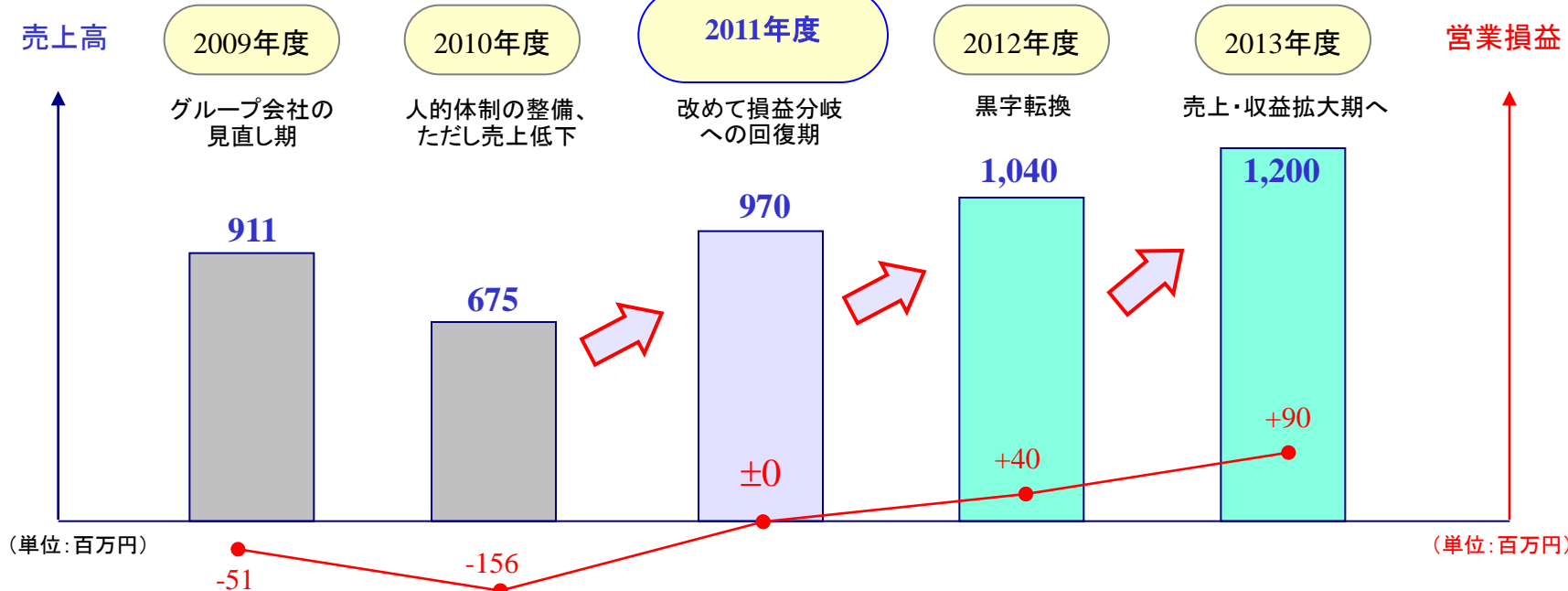
## 事業分野別売上目標

ナビゲーション	260	260	260
クロスメディア	490	520	640
モニタリング	220	260	300

2011年度＝今後3カ年での黒字転換を見据えた体質改善への第1ステップ

## 前年度の基盤強化を 有効機能させる取り組み

- ・人的体制の有効活用による、営業活動の活発化
- ・プロジェクト工程の徹底管理による収益性改善
- ・とくに効率的なプロジェクト運営による原価抑制
- ・内製化へのシフトによる、外注費用の抑制



本資料は、当社の事業、業績等を説明する為の参考資料であり、投資勧誘を目的として作成されたものではありません。

この資料に掲載されている見通し、その他今後の予測・戦略などに関わる情報は、本資料の作成時点において、当社が合理的に入手可能な情報に基づき、通常予測し得る範囲で為した判断に基づくものです。しかしながら現実には、通常予測しえないような特別事情の発生または通常予測しえないような結果の発生等により、本資料記載の見通しとは異なる結果を生じるリスクを含んでおります。

当社と致しましては、投資家の皆様にとって重要と考えられるような情報について、その積極的な開示に努めて参りますが、本資料記載の見通しのみにより全面的に依拠してご判断されることはくれぐれもお控えなされるようお願い致します。

なお、いかなる目的であれ、当資料を無断で複写複製、または転送などを行わないようお願い致します。

本資料に対するお問い合わせ

株式会社ビーマップ  
〒112-0001 東京都文京区白山5-1-3 東京富山会館ビル7F  
経営管理部 IR担当（大谷、植松）